

出雲市総合振興計画  
出雲新話2030

基本構想

4p 基本理念とSDGs

I. はじめに

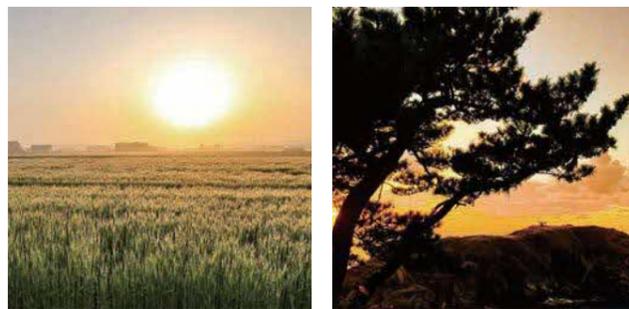
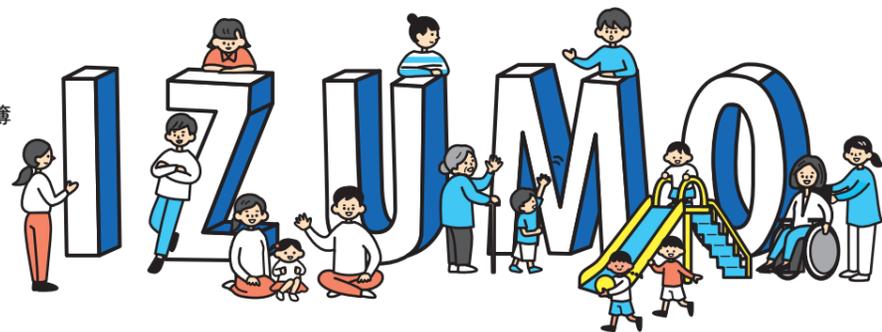
- 6p 01. 出雲市総合振興計画「出雲新話2030」とは
  - (1) 策定の目的・意義
  - (2) 計画の構成
  - (3) 計画期間
- 8p 02. 出雲市を取り巻く社会情勢2022
- 10p 03. 市民のニーズ
- 12p 04. 2030に向けての11の課題
- 14p 05. 出雲にはこんな力があります
- 16p 06. 目標人口

II. 将来像と基本方策

- 20p まちづくりの将来像
- 22p 6つの基本方策と27のまちづくりの施策
  - 24p ともに 創る
  - 30p ともに 守る
  - 34p ともに 結ぶ
  - 40p ともに 支える
  - 50p ともに 育む
  - 56p ともに 楽しむ
- 62p エリア別将来像

III. 資料編

- 00p 1. 市章・市の木・市の花・四季の花
- 00p 2. 市民満足度調査の結果
- 00p 3. 高校生アンケートの結果
- 00p 4. 出雲未来図の検証結果
- 00p 5. 各地区の魅力、次世代に残したいもの
- 00p 6. フォトコンテスト結果
- 00p 7. 各種計画一覧
- 00p 8. 統計データ
- 00p 9. 諮問書・答申書
- 00p 10. 策定経過
- 00p 11. 審議会委員等名簿
- 00p 12. ワーキングメンバー名簿

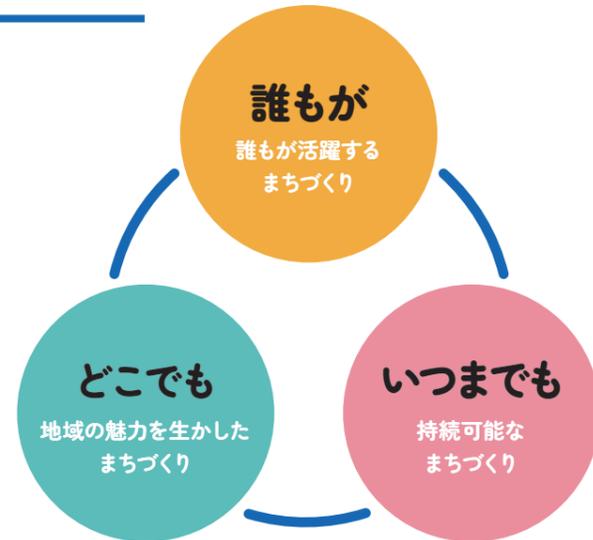


基本構想  
BASIC CONCEPT



「神在月」、「日が沈む聖地」など、古の時代から、出雲は、  
 特別な聖地として人々の心に深く刻まれてきました。  
 「出雲神話」から続く長い歴史において、生活様式が変化する中であっても、  
 出雲の豊かな自然、伝統文化、人の温かさは、  
 変わらず現代に生きる私たちに受け継がれています。  
 先人から受け継いだ財産を守り、次世代にしっかりと引き継ぐため、  
 今、出雲の新たな物語「出雲新話」が、以下の基本理念のもと、始まります。

## 基本理念



出雲市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「国際社会における2030年までの開発目標」です。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットで構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。出雲市では、こうした世界規模の目標を十分に踏まえ、総合振興計画の各方策、施策の推進に取り組んでいきます。



## I. はじめに

### (1) 策定の目的・意義

出雲市総合振興計画は、まちづくりを進めるための基本的な方向を示す、本市の最上位の計画です。

前出雲市総合振興計画 新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」では、まちづくりの将来像「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち出雲」の実現のために、6つの基本方策と4つの戦略プロジェクトを掲げ、雇用創出や交流人口、定住人口の拡大等を重点的に取り組んできました。

こうした取組により、定住人口17万人を維持し、雇用創出2,500人の目標を達成するなど、市民の約9割が住みやすいと感じるまちとして発展してきました。

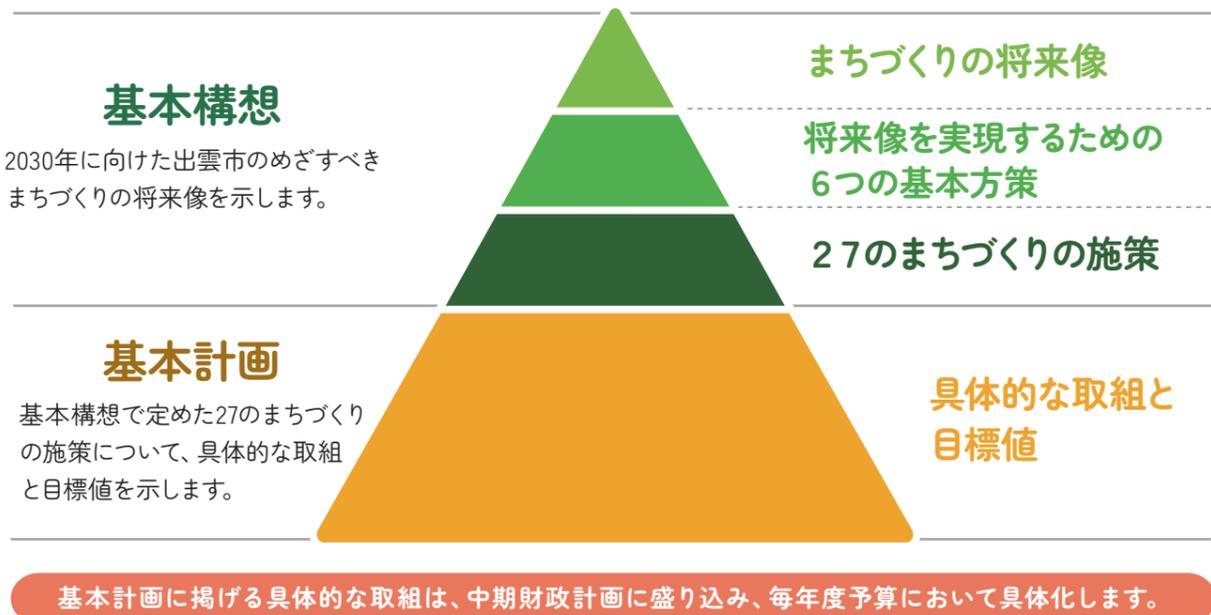
一方、急速に進む少子高齢化や、激動する国際・国内情勢の動向、頻発する大規模自然災害に対する安全安心意識・気候変動による環境意識・人生100年時代における健康意識の高まりなど、価値観やライフスタイルが多様化し、本市を取り巻く環境も大きく変化しています。

さらに、令和2年(2020)1月以降、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい、市民生活や経済・文化活動に多大な影響が生じる一方で、デジタル化の進展や脱炭素の流れは、私達の生活様式にも大きな変化をもたらしました。

このような変化に柔軟に対応するために、人口減少問題に立ち向かう「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」やSDGs(持続可能な開発目標)の理念をふまえ、2030年のめざすべき将来の姿とそれを実現するための基本方策を示す、出雲市総合振興計画「出雲新話2030」を策定しました。

### (2) 計画の構成

出雲市総合振興計画「出雲新話2030」は、「基本構想」と「基本計画」で構成しています。



### 基本構想

計画期間	8年 令和4年度(2022)～令和11年度(2029)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出雲市の現状(社会情勢、市民満足度調査結果、課題、地域特性)をもとに、出雲市のめざすべきまちづくりの将来像、その実現に向けた基本方策を示しています。</li> <li>○ 各基本方策に、チャレンジする目標を設定し、各種施策を推進します。加えて、目標人口とエリア別将来像で構成しています。</li> <li>○ 総合振興計画と「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」は、人口減少を克服し、将来にわたり持続可能な出雲市を実現していくという目的は共通することから、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」との整合性を図ります。</li> <li>○ 議会の議決を経て策定します。</li> </ul>

### 基本計画

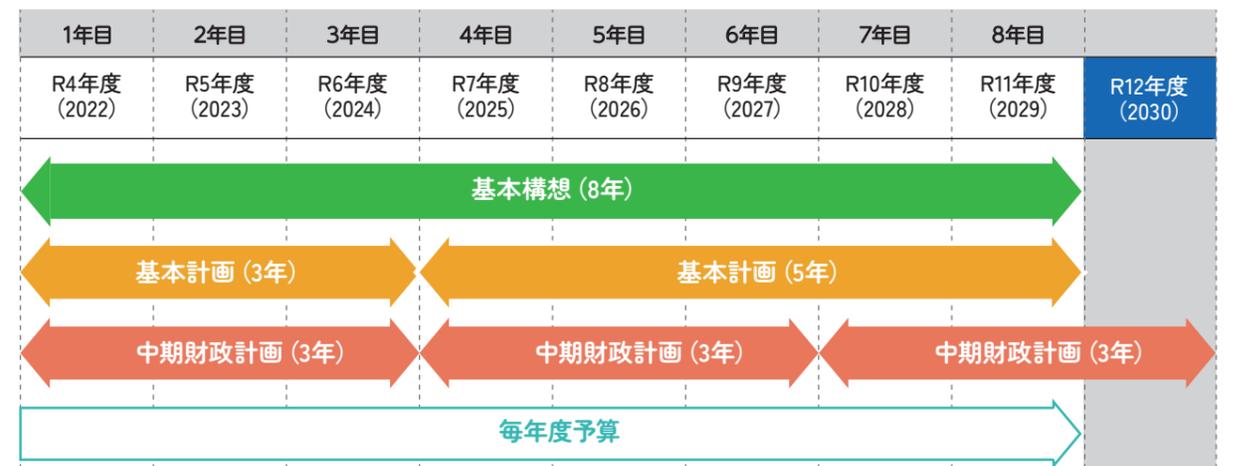
計画期間	前期3年(令和4年度～令和6年度)、後期5年(令和7年度～令和11年度)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時代の変化に対応するために、前期と後期に分け、各施策に目標値(重要業績評価指標・KPI)を設定し、施策を推進します。</li> <li>○ 前期期間は、「出雲市まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略」の計画期間の終期と合わせ、3年(令和4年度(2022)～令和6年度(2024))とします。</li> </ul>

### 推進体制

基本計画については、施策ごとにPDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)による点検・評価検証を毎年度実施します。必要に応じて、施策内容や目標値を見直すことで、より効率的で効果的な施策を実施します。



### (3) 計画期間





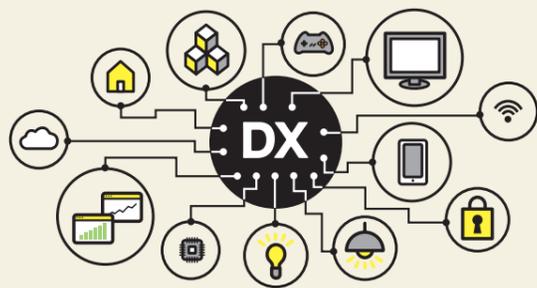
### 人口減少・少子高齢化

人口減少と少子高齢化の進行により、社会経済活動の担い手が減少し、社会保障の問題や地域コミュニティの維持が困難になるなど様々な影響が懸念されています。将来にわたって活力ある地域社会を維持していくため、人口、経済、地域社会の課題に一体的に取り組む必要があります。



### 安全・安心意識の高まり

全国的に、豪雨や地震などの自然災害、高齢者や子どもの交通事故、特殊詐欺による被害などが発生しており、安全かつ安心して暮らせる社会づくりが求められています。



### 情報技術の進展

DX（デジタルトランスフォーメーション・デジタル技術による変革）の取組により、行政のみならず、社会全体のデジタル基盤整備・デジタル技術活用を進め、デジタルサービスが広く浸透し、さらにそれらのサービスが連動していくことで、様々な社会課題を解決し、価値を創造していくことが期待されます。



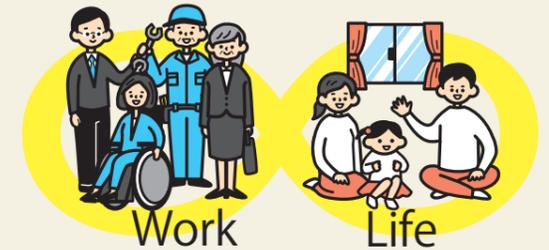
### SDGsの推進

「誰一人取り残さない」社会の実現をめざし、社会・経済・環境の調和を取りながら広範囲な課題に総合的に取り組むための17の目標「SDGs」の推進が求められています。



### 環境・エネルギー問題

地球温暖化をはじめとする地球規模での環境問題が深刻化し、国際的にも意識が高まっています。脱炭素・循環型社会の形成に向け、行政、企業及び市民がそれぞれ責任ある行動をとることが重要になっています。



### 価値観や ライフスタイルの多様化

人々の価値観やライフスタイルの多様化が進んでおり、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現した社会を構築していくことが重要になっています。また、国籍、性別、性的指向、性自認、年齢、障がいの有無などにかかわらず、市民一人ひとりが活躍する社会の実現が求められています。



### ウィズコロナへの対応

新型コロナウイルス感染症は、社会全体に大きな影響を与えました。ウィズコロナ、アフターコロナの新しい生活様式に対応できる新しい社会を築いていく必要があります。



### 協働によるまちづくり

人口減少や行政ニーズの多様化など、地域社会における課題は複雑かつ多様化しており、このような地域課題の解決に当たっては、行政のみならず、市民・地域活動団体・企業など様々な主体が協力して取り組むことが重要になっています。